

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1 教科書6ページの□の問題を声に出して読みましょう。

□の問題を求める式をかきましょう

式

$$700 + 400$$

2 700+400の計算のしかたを考えます。

□にあてはまる数をかきましょう。

700は 100が

□ 7 □ こ

400は 100が

□ 4 □ こ

3 計算のしかたをせつめいしましょう。□にあてはまる数をかきましょう。

700は100が □ 7 □ こ、  
 400は100が □ 4 □ こ  
 あわせると100が □ 11 □ こで  
 □ 1100 □ 円になります

100が何こあるかを考えると、  
 7 + □ 4 □ = 11  
 100は □ 11 □ こあります。  
 だから  
 700+400 = □ 1100 □ です。

$$700 + 400 =$$

$$\boxed{1100}$$

こたえ

$$\boxed{1100}$$

円

4 1200-700の計算をしてみましょう。

$$1200 - 700 =$$

$$\boxed{500}$$

5 次の計算をしましょう。

①  $700 + 500 =$   $\boxed{1200}$

②  $800 + 900 =$   $\boxed{1700}$

③  $400 + 600 =$   $\boxed{1000}$

④  $1100 - 300 =$   $\boxed{800}$

⑤  $1500 - 900 =$   $\boxed{600}$

⑥  $1400 - 400 =$   $\boxed{1000}$

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

- 教科書 11 ページの  $\square$  を声に出して読みましょう。
- 7のだんの答えのならば方を調べます。□にあてはまる数をかきましよう。

7のだんでは、かける数が  
1ふえると、答えは  $\square$  だけ  
大きくなります。  
 $35 + \square = 42$   
だから かかれた数は  
 $\square$  です。

7のだんでは、かける数が  
1へると、答えは  $\square$  だけ  
小さくなります。  
 $49 - \square = 42$   
だから かかれた数は  
 $\square$  です。

- まとめです。□にあてはまることばをかきましよう。

かけ算では、かける数が1ふえると、

答えは  $\square$  だけ大きくなり、

かける数が1へると

答えはかけられる数だけ  $\square$  になります。

- 下の九九の表のあいたところにあてはまる数をかきましよう。

かける数

		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

1  $3 \times 10$  の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。

かけ算のきまりを使って考えると3のだんは、

かける数が1ふえると答えは  ずつ大きくなる。

$3 \times 10$  は、 $3 \times 9$  より  大きくなるから

$$3 \times 10 = \text{$$

2  $10 \times 3$  の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数を書きましょう。

$10 \times 3 = 10 + 10 + \text{$

$10 \times 3 = 3 \times \text{$

だから、 $10 \times 3 = \text{$

3 次の計算をしましょう。

①  $2 \times 10 = \text{$

②  $7 \times 10 = \text{$

③  $9 \times 10 = \text{$

④  $1 \times 10 = \text{$

4 次の計算をしましょう。

①  $10 \times 4 = \text{$

②  $10 \times 1 = \text{$

③  $10 \times 9 = \text{$

④  $10 \times 6 = \text{$

5  $10 \times 10$  はいくつでしょう。

$10 \times 10 = \text{$

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( \_\_\_\_ ) 名前 \_\_\_\_\_

1  $5 \times 0$  の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。

かけ算のきまりを使って考えると

5のだんは、かける数が1へると

答えは  ずつ小さくなる。

$5 \times 0$  は、 $5 \times 1$  より  小さくなるから

$5 \times 0 =$

2  $0 \times 2$  の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数を書きましょう。

0の2こ分と考えて  $0 \times 2 = 0 + 0$

だから、 $0 \times 2 =$

3 次の計算をしましょう。

①  $4 \times 0 = 0$

②  $7 \times 0 = 0$

③  $8 \times 0 = 0$

④  $10 \times 0 = 0$

4 次の計算をしましょう。

①  $0 \times 3 = 0$

②  $0 \times 8 = 0$

③  $0 \times 1 = 0$

④  $0 \times 0 = 0$

月 日 ( ) 名前 \_\_\_\_\_

- 1  $6 \times \square = 24$  の  $\square$  にあてはまる数を見つけます。  $\square$  にあてはまる数をかきましょう。

九九の表で、かけられる数が6の場所を右へ見ると、答えが24の場所がある。24を上に見ると、かける数が  $\boxed{4}$  である。

だから、 $6 \times \square = 24$  の  $\square$  は  $\boxed{4}$  である。

- 2  $\square \times 7 = 21$  の  $\square$  にあてはまる数を見つけます。  $\square$  にあてはまる数をかきましょう。

九九の表で、かける数が7の場所を下へ見ると、答えが21の場所がある。21を左へ見ると、かけられる数が  $\boxed{3}$  である。

だから、 $\square \times 7 = 21$  の  $\square$  は  $\boxed{3}$  である。

- 3  $6 \times \square = 24$  と  $\square \times 7 = 21$  を九九の表を見ないで考えましょう。  
  $\square$  にあてはまる数を書きましょう。

$6 \times \square = 24$  の  $\square$  は  $\boxed{4}$  です。

$\square \times 7 = 21$  の  $\square$  は  $\boxed{3}$  です。

- 4  $\square$  にあてはまる数をかきましょう。

①  $2 \times \boxed{9} = 18$

②  $5 \times \boxed{8} = 40$

③  $9 \times \boxed{7} = 63$

④  $\boxed{5} \times 3 = 15$

⑤  $\boxed{4} \times 4 = 16$

⑥  $\boxed{6} \times 8 = 48$

\_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ( \_\_\_\_ ) 名前 \_\_\_\_\_

教科書16ページを参考にして、下の問題に取り組みましょう。

1 □にあてはまる数をかきましょう。

①  $8 \times 5$ は、 $8 \times 6$ より  小さい。

② 0に どんな数をかけても 答えは  です。

2 次の計算をしましょう。

①  $5 \times 10 =$

②  $10 \times 8 =$

③  $6 \times 0 =$

④  $0 \times 0 =$

3 □にあてはまる数をみましょう。

①  $3 \times$    $= 12$

②   $\times 4 = 36$

4 だいちさんと ひなたさんは、 $10 \times 4$ の答えを、次のように考えて求めました。□にあてはまる数をかきましょう。

だいち  $10 + 10 + 10 + 10$

$10 \times 4$ は  の  こ分と考えました。

ひなた  $10 \times 4 = 4 \times 10$

かけられる数と  を入れかえて考えました。